

平成30年度ふれあいトーク議事録(稲積地区)

日時 平成30年10月4日(木) 19:00～20:35
 場所 余川谷農業研修館
 出席者 稲積地区住民 38名
 市長、企画政策部長、総務部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、消防長、
 防災危機管理監、事務局7名

質問の内容	回答
<p>1 新道地区 男性 新道地区の海側に住んでいる住民からの要望である。新道地区には比美乃江大橋から続く臨港道路から一本内陸に入った道路があるが、この道路は、県の水産漁港課が管理している「みなし道路」であり、公的な道路に定義されない。 この「みなし道路」周辺の土地は当初国有地であったが、何年か前に周辺住民を優先に、土地の払い下げが行われた。しかし隣接する道路が「みなし道路」であるため、土地利用に制限があり、畑や駐車場として利用するしかない。また新道地区ではないが、同様の土地で払い下げが行われなかった場所は、ロープで囲われ荒地になっている。 以前個人的にお願いしたこともあるが、「みなし道路」を公的な道路にさせていただきたい。具体的には、「みなし道路」を市の管理とした上で市道にさせていただきたい。そうすれば土地利用の可能性が広がる。これは新道地区の海側に住む住民の要望である。 将来的なことを考えると、家が建てられないことを理由に、若い人が新道地区を出て行ってしまう。聞いた話だが、若い世帯が家を建てられず、他の地区で家を建ててしまったという話もある。 今年20年後の当地区について、県からアンケート調査があった。私の考えだが、このままでは新道地区は消滅していると思う。なぜなら現在、新道地区には小学生以下の児童がいない状態である。なんとかして新道地区を魅力ある地区にしていき、若い人に住んでいただきたい。「みなし道路」周辺では海沿いに立山連峰が見え、番屋街や比美乃江公園もあり、景観の良い土地であり活用しない手はない。土地が活用できるよう「みなし道路」を公的な道路にさせていただきたい。</p>	<p>建設部長 お話の土地は確かに国有地であり、漁港区域として県が管理を行っている。どのような形であれ、この道路を利用するには国の許可が必要である。 この道路を活用するにはどのような手法がよいのか、市道認定も含め、国、県と協議していきたいと考えている。</p>
<p>2 間島地区 男性 台風21号及び24号の避難について、当地区では稲積小学校が避難場所に指定されている。しかし台風21号の際は北部中学校が避難場所に指定され、24号の際はいきいき元気館が避難場所に指定された。稲積地区の避難場所と台風の際に市が指定した避難場所が違っている。 また台風24号の際には、寝床や食料を自分で持ってきて欲しいとの指示があった。高齢者は歩いて避難するため、それらを持って行くことはできない。どのように考えての指示だったのか、お聞きしたい。</p>	<p>防災危機管理監 台風21号の際には市内20箇所で避難所を開設した。台風21号の際は事前の気象情報から、市内全域での避難所の開設を決定していたが、避難所に配置する職員数も限られることから、避難所を20箇所に限定させていただいた。できるだけ身近な場所に避難所を開設したいが、氷見市の広さを考えると避難所の開設数を限定せざるえない。ご理解いただきたい。 台風24号の際は、事前の気象情報から自主避難という形を取らせていただいた。その中で食料等の準備をした上で避難していただくようお伝えしていた。 お話のように、荷物を持ってくることが困難な方は、体一つで避難していただいても構わないが、まずは自分の身は自分で守るという意識を持っていただきたい。</p>

	質問の内容	回答
3	同 男性 稲積地区の避難場所は不要ではないか？	防災危機管理監 そういうわけではない。災害の種類によっては、稲積地区指定の避難場所である旧稲積小学校を使うことになる。
4		市長 台風21号、24号の際は事前の気象情報から避難所の開設を決定した。特に台風21号は大雨も予想される台風であったため、市内全域20箇所で開催し、114名の方が避難された。 台風24号の際は、台風の経路が南側であり最接近が深夜であることが予想され、避難所の開設を決定してから台風が最接近するまで時間的に余裕があった。そのため避難される方は明るいうちに避難してほしい旨を呼びかけ、避難所も2箇所に限定させていただいた。結果的には市内全域から8名の方が避難された。 しかし台風などと違い、大雨など緊急性が高い場合には、防災危機管理監が説明したように、なるべく身近な避難所に避難していただく場合も出てくる。 台風のように時間的余裕がある災害の場合は、災害前の早めの避難を呼びかけ、地区をある程度まとめた形で避難所を開設させていただきたい。 お話にあった寝具や食料を自分で持ってきて欲しいとお願いしたのは、避難される際に自分に合った食べ物や寝具などを持ってきていただければ、心身への負担軽減になるのではないかという想いからである。少し分かり辛い部分もあったかと思う。 地区から避難する人が多いので、近くに避難所を開設してほしい旨を要望いただければ、協議の上対応させていただく。現に台風24号の際には朝日丘小学校区で避難所の開設依頼があり、対応させていただいた。
5	男性 台風21号の際、稲積地区に大雨で上庄川が氾濫水位を超えたため、避難の指示があり広報車が回っていた。しかしこの放送によって、住民は大変混乱した。実際には、こちらの判断で住民には自宅待機を指示した。 避難指示をする場合は情報を正確に伝えていただきたい。余川川の氾濫であれば避難指示は理解できるが、ハザードマップにおいても上庄川の氾濫による稲積地区の危険箇所は確認できない。住民に対する避難に関する広報活動は、しっかりしていただきたい。	防災危機管理監 お話の件は、台風ではなくその直前の大雨であったと思う。 その際上庄川が、氾濫危険水位を超えたため避難勧告という事態となった。市の想定を超えて急激に氾濫危険水位まで上昇したため、大変混乱し、広報車への指示も上手く伝わっていなかった。お詫び申し上げます。今後はこのようなことがないように正確な情報を伝えていきたい。
6	男性 これまでの市の防災対策は地震と原発を中心に行っており、原発については住民参加の避難訓練を行ったりもしていた。しかし今年の風水害については、これまで避難訓練をしておらず、初めての避難の指示であり大変戸惑った。実際に避難しようとした場合、避難所の体制がわからないため不安であった。例えば介護が必要な車椅子の方などは避難しても避難所では対応してもらえないのではないかという心配もある。 ハザードマップについてだが、富山県で地震による津波の高さを想定したものを作るとの話であったが3年経っても出てこない。また河川氾濫水位を想定した氷見市防災マップについても、現在は川の水位のみを想定しているが、海外沿いに住むものからすると大雨と満潮が重なった場合、海からの浸水被害が予想される。そういった事も想定し作っていただきたい。 今年は立て続けに大雨や台風が来たため、みんな混乱している。住民が災害に対して、どうしたらよいかキッチリ分かる仕組みや資料を作ってもらいたい。広報車で回っても近所から声をかけても、なかなか住民は避難しない。災害に対する教育が必要だと思う。	防災危機管理監 今年は様々な災害が重なり、市としても混乱する事態であった。この経験を今後の災害対策に役立てていきたいと思う。 お話のとおり避難所での介護等は大変な課題である。市としても福祉関連の方や自主防災会の方とも相談しながら今後の対応を検討したい。 災害に対しては、まずは自分の身は自分で守っていただく自助、地区やご近所で協力し助け合っていただく共助、最後に市が行う公助という順番になる。そのため皆さんの一人ひとりの防災意識を高めることが必要だと思う。ご理解とご協力をお願いしたい。

	質問の内容	回答
7	<p>上稲積地区 男性</p> <p>防災行政無線について、放送が途切れ途切れに聞こえ、分かり辛い。また雨も風もない状態でも警報が発令される度に夜中の1時2時にも係らず放送が鳴る。避難指示の際も雨も風もない状態で放送され、何故避難しないといけないのか理解できなかった。</p> <p>その他に、昼と夕方に流れる音楽について、市民に認知されていない。以前の音楽のほうが良かった。せっかく選んだのであれば広報やケーブルテレビ等でPRしなければ市民に認知されないままになってしまう。</p>	<p>防災危機管理監</p> <p>防災行政無線が聞き取りにくいというお話は、市内各地でお寄せいただいている。氷見の地形の特性上、音が通りにくいのは確かである。業者とも調整を行っているが、なかなか改善には至らないのが現状である。引き続き改善に努めていきたい。聞き取りにくい場合はテレホンサービスも行っているのご利用いただきたい。</p> <p>昼と夕方の音楽について、他の地区からも同様のお話は出ている。市としても広報の必要性は認識しており、検討していきたい。</p>
8	<p>男性</p> <p>都市計画課の担当かもしれない。市にパークゴルフ場を作っていた。そのため芝生に水を撒いているが、水を撒くと水道料が高くなるので止めていただきたいと言われた。</p> <p>今年のような炎天下が続くと、水を撒かないと芝が枯れてしまう。水を撒くといっても夏の1ヶ月間だけで残りの期間は使用しないので水道を止めていただいても構わない。大変な思いで2年間をかけて立派な芝生を育ててきた。ただ止めるといわれたのでは水を撒いている人は納得しない。どのようなやり方が良いのか考えていただきたい。</p>	<p>建設部長</p> <p>十分検討し対応していきたい。</p>
9	<p>男性</p> <p>昨年のふれあいトークでパークゴルフ場に倉庫を作っていたらと、お願いしたところ作っていただいた。感謝申し上げます。</p> <p>周辺環境が整い、初心者から中級者まで練習できる良いコースであるため、年間5000～6000人くらいの利用があり、先週もJA主催のパークゴルフ大会が開催された。たくさんの方が使われ技術もあがってきたが、間島のパークゴルフ場のコースは平坦なものしかない。大浦のパークゴルフ場にはいくつか中上級者向けの勾配のあるコースが存在する。できれば間島にも勾配のあるコースを作っていただけませんか。</p>	<p>建設部長</p> <p>技術が上がってくれば、より高度なコースで練習し、さらに技術を上げたいという気持ちは、ご理解できる。しかし限られた土地の中で、勾配のあるコースを作ることができるかどうかについては、今後検討させていただきたい。</p>
10	<p>男性</p> <p>市役所を年に何度か訪れる。その際、市民課の番号1の窓口には職員が常にいるが、他の窓口には職員がいない時の方が多い。どうやって職員に声を掛けたら良いか判断できず、ウロウロしてしまうことがある。</p> <p>JAや郵便局は常に窓口には職員がいる。窓口には職員がいないのは市役所くらいではないかと思う。窓口には職員がいないのであれば、「お待ちください」の表記や呼び鈴等が必要ではないか。</p>	<p>市民部長</p> <p>窓口業務で不愉快な思いをさせてしまい申し訳ございません。</p> <p>窓口職員については、日頃から外部講師による研修等を通じ改善に努めているが、内部の業務もあり、すぐに窓口業務に対応できない場合もある。ご容赦いただきたい。</p> <p>また1階フロアには各課への案内を行うフロアマネージャーを1名配置している。気軽にお声掛けいただければと思う。</p> <p>呼び鈴等のお話については、他自治体や民間の窓口を参考に改善していければと思う。</p>
11	<p>男性</p> <p>高齢者世帯が増えており、その高齢者を親族等が引き取り、空家、空地、耕作放棄地が増えている。その結果、空地、耕作放棄地が管理されず草が伸び放題であり、地区では対応しきれない。そのため先日市役所に行き、空地等の持ち主に草を刈ってほしい旨を伝えて欲しいとお願いしてきた。</p> <p>この問題は、当地区だけでなく市内全域で問題となると思う。</p>	<p>市民部長</p> <p>空家、空地、耕作放棄地について、具体的な場所を教えてください。所有者を出来る限り調べ、そちらに連絡を取り草刈を依頼することになっている。環境防犯課に、ご相談いただきたい。</p>

	質問の内容	回答
12	<p>同男性(市民部長の回答を受けて) 環境防犯課に相談し、対応していただいたことはある。しかし他にも多数の空地、耕作放棄地がある。それらの対策をどうするのか？所有者が県外の方であった場合、氷見に来ること自体が難しい。</p> <p>以前、市から所有者に連絡して貰い、その後シルバー人材センターに草刈をしてもらったことがあった。しかし9月頃環境防犯課に相談した件については、今のところ返答もなく草も伸びた状態である。</p>	<p>市民部長 確認し対応させていただきたい。</p>
13	<p>男性 現在、間島で側溝工事をやっているが、かつて余川川から間島北までの交差点の間について、工事の申請を出し継続要望となっている。この工事をいつ頃やっていただけるのか？</p> <p>この申請を出したのは、堂故市長の時であり、平成23年8月22日に稲積各地区の自治振興委員が市役所を訪れ、継続要望となっている。是非とも工事を行っていただきたい。</p>	<p>建設部長 昔から要望いただいている工事について、対応していないということであれば申し訳ないことである。まずは市で内容を確認させていただき、早急に対応できるよう考えていきたい。</p>
14	<p>上稲積地区 男性 今年の大雪の際、車内で一酸化炭素中毒により19歳男性と45歳男性が亡くなられ、身近な所では能越自動車道で死亡事故が発生し、高岡北インターより先が通行止めになった。高速道路運転に対する市民の知識が足りていないのではないのか？交通安全について市を上げて教育を行ってはどうか？</p> <p>また私は上稲積地区の交通安全協会の係をしており、先日余川谷の交通安全協会の総会に出席した。その際出席者のほとんどは免許証を返納するような高齢の方ばかりである。高速道路運転の知識不足だけでなく交通安全に関する組織の高齢化も問題である。若い人達の意見を拾い集めるような組織を作っていたら良いと思う。</p>	<p>市民部長 確かに高速道路については、運転者は安全であるという認識が強く、危険性については認識していない可能性はあると思う。一般道路に限らず高速道路についても交通安全に関する教育をしていきたいと思う。</p> <p>組織の高齢化については、市では交通安全協会を含んだ交通安全対策協議会という組織がある。そちらに伝え協議していきたい。</p>